

美浜町社会福祉協議会

弥右エ門さん家

平成 29 年度 小規模多機能型居宅介護サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 29 日 (10 : 30～11 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	3 人	1 人	0 人	5 人

前回の改善計画
フェイスシートをもとに情報を足していくよう努める。 初期支援の段階としても家族との信頼関係を築けるような雰囲気作りに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
初期支援もケアマネを中心とし、気付いた点などを家族に伝え、家族も不安のないように心がけた。 退院後、急な利用開始となったケースも 2 名おられ、サービスを日々すすめていく中で多機関とも連絡を密にとることを心がけた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	2	2	0	5
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	3	1	0	5
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	4	0	0	5
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	4	1	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
フェイスシートやサマリーを元にミーティングや報連相ノートを用いて情報を共有できている。 また、利用者の言動や家族との会話で得た情報を共有し、支援に活かしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
独居や認知機能が低下している方、家族と離れて生活をしている方の情報が乏しい。 急な契約で利用開始となるケースにおいて、情報が乏しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
情報を共有し、その方に合った接し方で、個別支援へ繋げていく。 現在も家族会を行なっているが、今後も家族とゆっくりと話せる場を設け、家族との信頼関係を築けるよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 29 日 (11:00~11:40)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	4 人	1 人	0 人	5 人

前回の改善計画

利用者の表情の変化を敏感に受け止め、個々の職員が知り得たニーズを職員間で共有するために、朝のミーティングやケース検討、介護記録などで共有し実践していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

今年度に入り訪問が多くなったため、職員が入れ替わりで訪問に出かけることも多く、知り得た情報も介護記録での共有が増えたため、その都度ミーティングなどで会話する機械を意識的に作るよう心がけた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	2	2	0	5
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	3	2	0	5
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	1	1	5
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	1	0	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人の言葉や行動を把握し情報としてミーティングや記録にて共有できている。
モニタリングにおいて、家族からの情報をプランに反映し支援に繋げている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

認知機能の低下や個別で話す機会も少ないなどの原因でニーズや目標などの話までには至っていない。
日常生活支援のみで、ニーズに対応できる支援まで行なえていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

利用者と一緒にゆっくりと会話できる時間を設けるよう努め、目標やニーズを把握し情報として共有する。
また、目標やニーズに対し支援が行なえるよう検討し、実践に繋がれるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 29 日 (11 : 40~12 : 05)

3. 日常生活の支援

メンバー 5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	0 人	0 人	5 人

前回の改善計画

利用者に対し、職員のいろんな角度からの視点があり、その思いを共有し日常生活の支援に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員の視点についても、新たな気付きもあり、その都度、変化に対応した支援を行なえた。独居でかかわってまだ日も浅い利用者に対しては、地区の役職員の方とも離し合いの場を設け、情報の共有に務めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	4	0	5
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	2	1	0	5
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	3	1	0	5
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	3	0	0	5
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	5	0	0	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者の体調や精神的変化に気付いた時には、朝のミーティングや、その都度の話し合いにおいて共有できている。また、記録を行い全職員で共有できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者によって情報量が違い、10 個以上となると、本人との会話や家族からの情報の中からも把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

各職員が得た情報を、記録や話し合いの場を用いて共有する。
記録方法を明確にできるよう、新たに作成し直し、記録に時間を取られない工夫をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 29 日 (12 : 05～12 : 15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	1 人	3 人	0 人	5 人

前回の改善計画	<p>現在、地域とのかかわりがある方はかかわりが続けられるよう継続し近所の方や民生児童委員、福祉委員のかたに理解、協力していただけるよう働きかけていく。地域とのかかわりのない利用者には、その利用者が望む地域での暮らし方を把握していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>民生児童委員、福祉委員とも福祉委員会がある地区には職員も出席し情報を得ている。また、福祉委員会がない地域も利用者のサービスが入ったのをきっかけとし、話し合いの場を設けることができ、今後もかかわりが持てるように支援を繋げることができた。 また、利用者によっては家族ぐるみで地域とのかかわりを避けている方もいるため、気持ちに添えるようにしている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	3	2	0	5
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	3	2	0	5
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	1	1	5
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	1	1	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者のできることを家族に伝え、家族で支援が可能なことは見守り、家族との関係を配慮した支援ができた。 各地区のサロンや福祉委員会への参加を通じ、民生児童委員や福祉委員などと関係を継続できている。 また、地域とのかかわりを拒否している利用者について、地域の役員の方達との話し合いの場を設けた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>独居の利用者が近所の人達とのかかわりを求めているため、無理強いをしないかかわりができるように時間をかける必要がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>家族や地域の方とのかかわりがある利用者は、見守りを行ないながら支援を継続していく。 地域の方とのかかわりがない利用者は、地域の方との会議の継続やコミュニケーションをとる等、関わりの方法を探り支援を継続していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 29 日 (12 : 15～12 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	1 人	3 人	0 人	5 人

前回の改善計画	それぞれの地域の資源を知り、繋げていく為に顔見知りの方を増やし、その地域に足を運ぶ。繋がりが少ない地域は地区担当の職員から情報をもらいかかわりを築けるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	各地区のサロンや福祉委員会にも積極的に参加している。またサロンでも職員による体操等の要望もあり実際にサロンに参加し地域の高齢者ともかかわることができた。お便りも山上地区は手配りを継続しているため、地域のかたとも触れ合える機会を設けている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	0	0	5
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	3	0	0	5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	4	0	0	5
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	4	0	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の希望や状態を把握し、通いの回数や曜日、訪問回数や訪問時間の変更も柔軟に行なっている。必要に応じ、地域資源や、配食サービス等の外部のサービスの活用も提案し活用する等の支援も行なっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者本人や家族が、地域とかかわっているかの把握ができていない。また、地域によって、地域資源となり得る人材の把握や、関係性ができていない地域もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
必要に応じた、通い、泊まり、訪問の柔軟な対応を継続していくと共に、本人の思いや状態に合わせた支援を行なえるよう、情報の共有や話し合いの場を設けるよう努める。また、現在、繋がりが持っている地域の力になる方との関係を継続できるよう努め、関わりが持ていない地域については関係が持てるよう、足を運び繋がりが築けるよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 29 日 (12 : 30～13 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	0 人	0 人	5 人

前回の改善計画	子供や親子連れの方が気軽に立ち寄ってもらえるような事業所となるよう、お便りや地域の集まりでアピールする。また子供と一緒にこなえるような催し物を計画していく。子供と交流が持てるような場所へ出かけ繋がりを継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	弥右エ門さん家の夏祭りに、子供会とも一緒に参加してもらうことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	1	0	4	5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	0	1	3	5
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	0	2	3	5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	5	0	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>定期的にボランティアに来てくださる方との交流を継続し行なっている。 弥右エ門さん家の夏祭りに、子供会にも入ってもらった。当日子供会の子供に役割を担当してもらったことで例年のような催しだけの参加ではなく、高齢者とも触れ合えることができた。また、山上の地域の方からの誘いもあり、子供会の催しにも利用者も出向き、触れ合うことができ、後日、弥右エ門さん家にもその子供が遊びにきてくれた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域の行事に参加できておらず、積極的な周知や地域の方が気軽に集える場作りの工夫まではできていない。また、各会議も限られた職員のみでの参加になっている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>ボランティアの方との関係を継続していくと共に、各行事で交流の持てた子供や子供会の役員との関係を継続し、一緒に催し物等を計画し実施していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 29 日 (12 : 50 ~13 : 02)

7. 運営

メンバー 5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	0 人	5 人	0 人	5 人

前回の改善計画

防災に関して地域の方達と計画の段階から協働した訓練を実施するなど弥右エ門さん家としても工夫していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

防災に関しての避難訓練を行なった。山上区の民生児童委員にも参加してもらい、利用者の避難誘導も行なってもらった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	2	2	1	5
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	0	1	5
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	2	2	1	5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	3	1	0	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

家族からの送迎時間の変更の希望や急な泊まりの希望にも柔軟に対応できた。また、弥右エ門さん家夏祭りにおいて地域の方と共に計画し協力しながら開催できた。運営推進会議においても意見をもらい、日頃の運営、支援に反映させている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

職員間でケアに対する意見交換はできているが、事業所全体的話や事業所のあり方等の話し合いは行なえていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

避難訓練や夏祭りなど、地域の方と一緒に計画し実施していけるような行事の開催を、積極的に実施していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 29 日 (13 : 02～13 : 10)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	5 人	0 人	0 人	5 人

前回の改善計画

内部研修、合同研修の参加を継続し得た知識を普段の支援に活かすよう取り組む。また、外部研修にも積極的に参加し個々のスキルアップを図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

内部研修、合同研修には参加している。個々に知り得た知識を支援に活かしている。外部研修には参加できていない職員もいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	2	1	0	5
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	1	1	5
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	3	5
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	3	1	1	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
年間計画を立て、内部研修、合同研修に参加している。利用者や送迎時など様々な場面においてリスクを想定し行動している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
外部研修へは参加できない状況もあり、スキルアップには繋がられていない。
地域連絡会へは担当職員が参加している。そこで得た情報をミーティングで共有はしている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

内部研修、合同研修への参加は継続し行い、外部の研修へも積極的に参加する。内部研修において、リスクマネジメントについての研修を継続して行い、事故を未然で防げるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 29 日 (13 : 10～13 : 15)

9. 人権・プライバシー

メンバー 5 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	0 人	0 人	0 人	5 人

前回の改善計画	身体拘束、虐待防止に努め、多様な視点からプライバシー厳守に努める。 個人を尊重し、より良いチームケアができるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束、虐待、プライバシー、個人情報の管理も適正に行なっている。 個人を尊重した支援を心がけている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	0	0	0	5
②	虐待は行われていない	5	0	0	0	5
③	プライバシーが守られている	2	3	0	0	5
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	2	0	3	5
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	4	0	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>個人の自由を尊重しており、身体拘束はしておらず事業所内は自由に行き来でき玄関の施錠もしていない。 個人情報は外部に漏れない。 写真やブログを外部に提示する場合は本人、家族の同意を得ている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>最大限の工夫をし、個人情報の管理に努めているが、ハード面において限界があり、その都度の対応を行なっている。 成年後見制度を本人が必要でないと考えている利用者があるため、今後の課題となっている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>身体拘束、虐待防止に努め、日々の振り返りの場となるよう積極的に研修に参加する。 個人情報の管理を行なう。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉協議会	代表者	高木 勝美	法人・事業所の特徴	海、山と自然が多く民家を改修しているため家庭的な雰囲気の中、今まで暮らしてきた地域との繋がりも大切にし、一人一人が望む暮らしに近づけられるよう支援しています。また、地域の福祉拠点となるよう定期的に地域との交流も行なっています。また、今年度も地域との交流にまいどさんカフェを季節ごとに行なっている。
事業所名	弥右エ門さん家	管理者	田邊 紀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	1人	0人	0人	3人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> フェイスシートを元に情報を足していくよう務める。 初期支援の段階としても家族との信頼関係を築けるような雰囲気作りに務める。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価としてはフェイスシートやサマリー、報、連、相ノートで情報の共有をしている。また、利用者の言動、仕草など、性格や家庭環境も考え、個人対応するきっかけとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議では、特に意見はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の改善計画自体を地域の方々にも評価しやすいように具体的に内容を決めていき、より分かりやすく、身近に感じてもらえるようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、利用者が帰宅したあと、掃除と換気をし、消臭効果のある除菌スプレーを用い、臭い対策をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般住宅を改修しているので、仏壇もあってなじみやすいと思う。 一日の通いの人数も多くなく、ソファや畳があって過ごしやすそう。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の子供や保育園に通う前の子供とも交流が持てるよう働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 弥右エ門さん家の祭りに保育所ではなく、子供会と一緒に行事を行なえたが、日曜日だったため、利用者との関わりはなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 弥右エ門さん家の避難訓練を同じ組にも知らせてくれている。 民生児童委員とボランティアと利用者との避難訓練だったが参加させてもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の行事を可能な範囲で継続していく。

			<ul style="list-style-type: none"> ・弥右エ門さん家の祭りを子供会と一緒にこなえたのは、良い取り組みだった。 	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・相談ことが利用者のいる時間帯などは、個別に対応できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容によっては、利用者のいる場所で交流したが、内容により、個別で対応行なえた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議のときにもサロンの参加や福祉委員会にも参加していると報告がある。 ・利用者以外の地域の高齢者宅を訪問してくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の関わりを、可能な限り継続していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の目的や役割を委員が交代しても会議に内容など提示していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員が交代する際は、運営推進会議の目的など、記したものを持参し、会議の案内を渡す前に説明を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業所は事例検討まで行なえているのか。 ・他の事業所では、毎回ではないが、運営推進会議内で事例検討を行なっていると聞く。 ・弥右エ門さん家では実際に事例検討ではなく、関わりの報告のみになっている事が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の心配の方等の事例検討しやすいものを運営推進会議で検討していく。 ・地域での取り組みは継続していく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな場面を想定した訓練も計画、実施していき、家族にもお知らせする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も2回、避難訓練を実施し、1回目は利用者、ボランティア、民生児童委員と一緒に訓練を行なえた。事業所と同じ組にも知らせはしたが参加はなかった。2回目は夜間を想定し日暮れからシルバー人材センターの実際に泊まり対応してくれている方々にも参加してもらい、行なえた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・弥右エ門さん家の避難訓練の知らせはきていたが、参加はしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害を想定した訓練の実施、地域の方達にも一緒に参加してもらい、災害時の避難の仕方など、一緒に考えていけるようにしていく。

